

運転代行／フロント

②

マ、ハ、ク、メ

北海道帯広市の代行本舗(樋渡義章社長)は、全国有数の運転代行激戦区で奮闘を続ける。2004年に代行業を始め、現

在は随伴車2台、妻の美代子さんとアルバイトの従業員6人の8人で営業する。帯広市がある十勝地方には31社の代行事業者があり過当競争・ダンピングが深刻。樋渡社長は「この地域の代行のルーツは兼業の小遣い稼ぎ。今も感覚が」

1. 8年以上無事故の安全姓や、ドライバー全員が名刺を持つ信頼性が支持されている。開業時から続けるポイントカードも好評だ。乗客に叱られたとしてもスピードを出さないよう教育。人手不足は深刻だが、安全運転できない人は雇用を打ち切ってきた。

安全、信頼が固定客つかむ

“激戦区”で適正営業訴え

地域での活動に注力する樋渡社長。随伴車には優良事業者の認定ステッカーも光る



代行本舗 (北海道帯広市)

抜けない。利用者も値切るのが当たり前で、遠距離は料金表があつてないようなもの」と厳しい状況を語る。

地域の平均料金は3千150

0円。同社は3千2500円で

営業する。昨年4月の消費税

で値上げした際、顧客に①従業

員の待遇改善②損害賠償措置の

充実③燃料高騰を説明し、

客離れを防いだ。

経営を支えるのはピータ

同社の給与は最低賃金の時給730円と深夜割増賃金。二種免保有者が不足する中、賃上げや正社員採用への思いは強いが「この地域の料金水準では難しい」と樋渡社長。地域には最賃や割増賃金も払えない事業者もある。開業時は随伴車も5台だったが、二種免保有者の不足や需要減で今は2台での営業だ。状況打開のため、力を入れるのは需要喚起や適正営業の訴えかけ。昨年はキンビール北海道千歳工場で開かれたビアフェスタに、北海道支部として参加。今後も機会あるごとにアビールを続ける。